

入学時期：	4月生	学科：	上級行政科	コース：	16ヶ月	クラス	－
科目名：	地理・歴史(地理・日本史・世界史)					年次：	2年次
担当者：	田縁 美穂	単位：	3単位	授業時間：	45時間		

■授業概要・方法等

テキストを用いて講義形式で授業を行う。学生は単元終了ごとに各自で過去問題集に取り組み、その単元の問題を正しく解答できるようにする。また単元ごとに実施する小テスト（公務員試験と同形式）や誤答のやり直しのレポート、総合演習を通じて理解度を確認する。

■学習・教育目標及び到達目標

地理・歴史ともに、1年次に学習した内容を総復習し、より理解と知識を確実にする。とくに2年次では、アジア地域、ヨーロッパ地域の学習の際に、世界史で学習した戦後の東欧諸国やアジア諸国の独立の内容を意識的に取り入れ、総合的に地理・歴史を理解する力を習得する。歴史では、2年次には江戸時代から第2次世界大戦までの内容を総復習し、同時期の世界史と結びつけながら、総合的に理解する力を身につける。

これらの学習を通じ、公務員試験大卒程度の地理・歴史の幅広い問題を正答できるようになる。

■成績評価方法および基準

地理	35%（小テストの総合点数50%、やり直しレポート50%）
日本史	30%（小テストの総合点数50%、やり直しレポート50%）
世界史	35%（小テストの総合点数50%、やり直しレポート50%）

合否	合格			不合格
評価	A	B	C	不可
評点	100～80	79～70	69～60	59～0

■教科書

【地理】

- 『地理テーマ別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 各国・地域別テキスト』（本校独自）
- 『上級地理 過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『地理統計要覧 最新版』（二宮書店）

【日本史】

- 『上級日本史テキスト』（本校独自）
- 『上級日本史過去問題集・解答解説』（本校独自）
- 『上級日本史 本日の復習』（本校独自）

【世界史】

『上級世界史テキスト』（本校独自）

『上級世界史過去問題集・解答解説』（本校独自）

『上級世界史 本日の復習』（本校独自）

■授業計画の内容

時間割上の科目名:【地理】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 気候の特色とグラフ
2	気候の特色とグラフ, 植生と土壌
3 ~ 5	ラテンアメリカの国々
6 ~ 7	東アジアの国々
8 ~ 10	東南アジア・南アジアの国々
11 ~ 13	ヨーロッパの国々
14 ~ 15	アフリカの国々

時間割上の科目名:【日本史】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, 江戸時代（幕府成立と統制策）
2 ~ 3	江戸時代（初期の外交, 文治政治への転換, 元禄の治, 産業・経済など）
4 ~ 5	江戸時代（正徳の治, 三大改革）
6 ~ 7	江戸時代（列強の接近, 開国, 幕末の動乱）
8 ~ 9	明治時代（新政府の政策）
10 ~ 11	明治時代（自由民権運動, 外交と条約改正）
12	明治時代（日清・日露戦争, 産業革命, 桂園時代）
13	大正時代（第1次世界大戦, 国際協調時代, 戦後恐慌）
14	昭和時代（金融恐慌, 満州事変, 日中戦争, 第2次世界大戦）
15	政党政治の変遷

時間割上の科目名:【世界史】

(4-7月 15時間)

時 数	内 容
1	ガイダンス, イギリスの産業革命と19世紀の自由主義
2 ~ 3	各国の帝国主義（イギリス, フランス, ドイツ, ロシア, アメリカ）
4	第1次世界大戦と戦後処理, 国際協調時代,
5	世界恐慌と各国の対策
6	ファシズムの台頭, 第2次世界大戦の勃発と終結

7	～	8	アメリカ史（独立戦争と 19 世紀の発展）
9	～	10	戦後の社会（アジア各国の独立について）
11	～	12	戦後の社会（冷戦構造の確立と、戦後の米ソの動き）
13	～	14	中国史（清王朝の成立～辛亥革命）
15			中国史（国民党と共産党との対立、戦後の中国社会）

■履修にあたっての注意事項

予習は必要ありません。復習をしっかり行い、授業の進行に合わせて過去問題に取り組み、ポイントを掴みましょう。

■その他